

佳作

あおおにのおてがみ

荒川区立尾久小学校一年

太田 和範

「ココロノ ヤサシイ オニノウチデス

ドナタデモ オイデクダサイ。」

ぼくは、あかおにのたてふだをみたとき、

「おになのに、ほんとうにやさしいのかな。」

とおもいました。やなぎだせんせいは、どうおもいますか。

たてふだのじをよくみると、じにちからははいつていて、「うそではなくて、まじめにかいたのかな。」とおもいました。

ぼくはじをかくことがとくいです。かんじのれんしゅうもがんばっています。じをかくときや、

てがみをかくときは、あいてのことをかんがえて、ていねいにやさしいじでかくようにしています。ていねいにかくと、あいてにつたわるとおもうからです。やなぎだせんせいは、てがみをかくときにどんなことにきをつけていますか。

「ドコマデモ キミノ トモダチ・・・ アオオニより」

これは、ぼくがこのおはなしのなかで、いちばんすきなばめんにでてる、あおおにからのてがみです。このてがみをよむと、あおおにはあかおにのことがだいすきなことがよくわかるからです。あおおには、じぶんがわるものになって、あかおにのねがいをかなえてあげたのだとおもいました。このてがみをよんで、ぼくもあおおににてがみをかきたくまりました。

「アオオニクン ステキナ オテガミヲ
アリガトウ。 コンド ウチニ アソビニ
キテクダサイ。 アカオニクント
イッショニ アソビニ キテクダサイ。」